

予 算 の 概 要

1 業務の予定量

・給水戸数	335,000 戸	前年度比	+	2,000 戸	+0.6%
・年間配水量	96,662,000 m ³	前年度比	△	204,000 m ³	△0.2%
・年間給水量	91,539,000 m ³	前年度比	△	193,000 m ³	△0.2%
・有収率	94.7 %	前年度比		0.0 P	

2 予算規模及び予算の概要

(1) 総事業費

(単位:千円)

令和4年度 A	令和3年度 B	前年度比	
		A-B	A/B
29,384,503	28,066,923	1,317,580	104.7%

(2) 収益的収入及び支出

(単位:千円)

	令和4年度 A	令和3年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
事業収益	17,045,191	17,212,247	△ 167,056	99.0%
営業収益	15,455,735	15,574,471	△ 118,736	99.2%
営業外収益	1,412,132	1,404,258	7,874	100.6%
特別利益	177,324	233,518	△ 56,194	75.9%
事業費	15,772,122	15,493,148	278,974	101.8%
営業費用	14,908,738	14,511,558	397,180	102.7%
営業外費用	617,012	767,887	△ 150,875	80.4%
特別損失	241,372	208,703	32,669	115.7%
予備費	5,000	5,000	—	100.0%
差引	1,273,069	1,719,099	△ 446,030	74.1%
純利益(税抜)	(446,721)	(959,232)	(△ 512,511)	(46.6%)

(3) 資本的収入及び支出

(単位:千円)

	令和4年度 A	令和3年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
資本的収入	5,651,785	4,720,306	931,479	119.7%
企業債	4,669,000	3,694,000	975,000	126.4%
国庫補助金	319,857	335,610	△ 15,753	95.3%
出資金	331,000	412,000	△ 81,000	80.3%
固定資産売却代金	1	1	—	100.0%
消火栓設置負担金	72,177	71,445	732	101.0%
補償金	259,750	201,250	58,500	129.1%
投資償還金	—	6,000	△ 6,000	皆減
資本的支出	13,612,381	12,573,775	1,038,606	108.3%
建設改良費	10,193,102	9,344,663	848,439	109.1%
企業債償還金	3,419,279	3,229,112	190,167	105.9%
差引	△ 7,960,596	△ 7,853,469	△ 107,127	101.4%

資本的収支不足額 7,960,596 千円は、

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① 当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 816,163 千円 |
| ② 当年度損益勘定留保資金 | 5,204,130 千円 |
| ③ 建設改良積立金 | 1,940,303 千円 で補填する。 |

3 主な事業計画

(単位:千円)

施策等		事業費	事業の概要
安全	水質管理の充実・強化	75,374	○ 水質管理体制の強化 75,374 <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査機器の適切な維持管理 ・水質検査機器の計画的更新及び整備
強靱	浄配水施設の計画的更新及び災害対策	2,246,280	○ 青山浄水場施設整備事業(4カ年継続事業) 1,321,100 <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備更新工事 ・配水ポンプ設備更新工事 ・2系沈澱池・ろ過池改良工事 ・構内水管耐震化工事 ・構内水管布設工事 ・配水池長寿命化工事 他 ○ 巻取水場施設整備事業(3カ年継続事業) 12,100 <ul style="list-style-type: none"> ・自家発電設備更新工事 ○ 浄配水施設の更新及び整備 913,080 <ul style="list-style-type: none"> ・ろ過池1～4号排水扉更新工事(阿賀野川浄水場) ・次亜注入機械設備工事(満願寺浄水場) ・監視制御設備機能増設工事(満願寺浄水場) ・次亜注入電気設備工事(満願寺浄水場) ・電気計装設備更新工事(二本松ポンプ場・配水場) ・自家発電設備更新工事(二本松ポンプ場) 他
	管路施設の計画的更新及び災害対策	6,238,100	○ 基幹管路更新事業 2,240,700 <ul style="list-style-type: none"> ・配水幹線の更新事業 (φ400 ～ φ900 L = 3,280 m) ○ 基幹管路整備事業 494,450 <ul style="list-style-type: none"> ・事故・災害時の相互融通を目的とする大ブロック間の相互連絡管整備事業 (φ500 L = 1,210 m) ○ 配水支管更新事業 3,502,950 【老朽管更新】 <ul style="list-style-type: none"> ・更新周期を超えた老朽配水支管を計画的に更新 (φ50 ～ φ250 L = 9,343 m) 【重要施設向け配水管の耐震化】 行政機関2施設 医療機関1施設 <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点となる行政機関や医療機関への配水支管を優先的に耐震化 (φ100 ～ φ300 L = 825 m) 【鉛給水管更新】 <ul style="list-style-type: none"> ・小口径管鉛給水管の更新 (φ50 L = 578 m) 《参考:基幹管路耐震適合率》 令和3年度末見込:67.9%⇒令和4年度末見込:69.1%

(単位:千円)

施策等		事業費	事業の概要	
持続	経営基盤の強化	59,016	○ 業務効率化に向けた民間委託の実施 ・DB(デザインビルド)方式の導入(試行) 取水施設撤去事業(4カ年継続費)	56,870
			○ 水道事業経営審議会の効果的運用	688
			○ ICTを活用した業務効率化 ・RPA(Robotic Process Automation)の導入	1,458
	戦略的な広報及び お客さまの意見・要 望の把握	36,593	○ 戦略的な広報の実施	35,034
			○ お客さまアンケートの実施	1,193
			○ 水道モニター制度の運用	366
	放射性物質を含む 浄水汚泥の適切な 管理と情報提供	233,781	○ 浄水汚泥(200Bq/kg以下)の有効利用	211,979
			○ 指定解除後汚泥の処分	21,802
	技術・知識を有する 人材の確保と育成	6,525	○ 各種研修の実施	6,525